



いちばん星 ★ 大阪弁トーク

「付度（そんたく）で大臣クビやて！そもそも付度でどういう意味なん」
「辞書によれば、他人の心をおしはかって相手に配慮することですな。」
「もともと悪い意味やなんいやね。それが変わったんは？」
「首相夫妻の意向を押し量って国有地の不当なたたき売りをした森友事件からですな」
「それで付度やない、不正行為やないの。なんで担当大臣のクビとばへんかったんや！」
「今度かて地方選挙の最中やからクビになっただけで、首相は笑って済ますつもりやったに違いない。」
「いつからこんな政治になったん？厚労省の統計はインチキ、実質賃金下がってるのに上がったなんて嘘ばっか。今度は首相と副首相におべっか使って道路作る、国民の税金やで！あんたの金ちゃうんやで！そのうえに復興より自分とこの議員が大事なんやて、もうあきれてものも言えんわ」
「ほんまに無茶苦茶でござりますわ」
「もう政治いやになった、選挙なんかどうでもいい」
「あきません、それこそ、向こうさんの思うつぼや、こんな人らに憲法いじらせたらどんなことになるか。」
「そやなあ、憲法たたき売りされてしまうなあ・・・」
「腐った政治を正すために、一票使わな！」
「憲法守らなアカン！」
今年は統一地方選挙に続いて参院選。 **選挙に行って、政治を変えよう！**

変えたらアカン！平和憲法

5. 3 憲法記念日にみんなで歩こう！

市民パレード IN とよなか 2019

日時：5月3日（金・祝）
10：45 豊中市役所前集合
11：00 パレード出発（豊中駅まで）

毎年5月3日に歩き続けて15年。いまや豊中の恒例行事となった市民パレードです。今年は10連休の真ん中となりますが、今の酷い政治状況の中、黙っているわけには行きませんね。

沖縄と連帯して、今年も一緒に歩きましょう。市民の声とパワーで日本の憲法と平和を守りましょう！

輝け憲法！平和といのちと人権を！

5. 3 おおさか総がかり集会

日時：5月3日（水・祝）13：30～
場所：扇町公園（地下鉄扇町駅、JR天満駅下車）
13：30～ ミニコンサート（長野たかし&森川あやこ）
二宮厚美さんスピーチ「安倍政権大失政の6年」
野党各政党、市民からのアピール
15：00～ 市民パレードへ

☆豊中のパレードのあとは、みんなで大阪市内へ！当日は、ブルーのいちばん星の旗「九条を壊すな！」を目印にお集まりください。初めての方も、一人でもどうぞ。一緒ににぎやかに歩きましょう！

いちばん星は地域の平和を願う人たちとネットワークを組み、力を合わせて活動しています。この春も、さまざまなアクションを起こしています。中面もぜひお読みください！

維新圧勝、しかし、たたかいは終わってはいない！

(松岡幹雄@市民連合・豊中事務局)

4月7日の「大阪ダブル選」は維新の圧勝に終わった。私たち市民連合・豊中は、府議選に際して厳しいことは百も承知の上で、立憲野党からの二人の候補者と9項目の政策を合意し、両者の当選をめざした。また、「大阪ダブル選」については、小西さん、柳本さんを応援した。しかしながら結果は、維新が大差をつけての圧勝だった。(立憲野党との政策協定は下記のコラム参照)

敗北の原因は何か？いったい何が足りなかったのか？悶々とした気持ちをいだきつつも統一地方選後半戦と12区衆議院の補欠選に突入しているのが実情だ。

もともと客観情勢としては、万博誘致の「成功」や劇場型府市入れ替え戦という「奇策」にくわえ、府議選と大阪市議選、そして知事、大阪市長選と連動選挙は維新に有利な選挙となった。全維新勢力上げての「都構想推進」の連呼は、強いメッセージとなり維新の支持拡大をもたらした。一方、私たちは、「都構想」を批判してきたが、有権者からすれば大阪市以外ではどこか「他人事」との受けとめもあったのかもしれない。

そして、反維新の側も、「オール大阪」とは名ばかりになってしまっていた。維新から「水と油の野合」批判が連日繰り返され、それを恐れた自民大阪府連は、全く意味不明の宣伝(府連作成のネット用ポスター＝安倍の顔写真を添えての「自共共闘？維共共闘の間違いでしょ?」)を行ない、あげくは自民支持層の50%を維新にもっていかれた。立憲野党も支持者から「なんで自民党の候補者を応援するのか」といった声も聴くことがあったし、実際、支持層の20%近くを維新に持っていかれる始末となった。

だが、今回維新が圧勝したといっても、大阪市議会は過半数をとれていない。公明党や自民党が寝返らない限り「都構想」を前に進めることはできない。カジノや万博夢洲開催には批判の声も広がっている。たたかいは、けっして終わってはいない。

維新前代表橋下徹は、ツイッターで市議会の自民党議員に対して次のように言う。「維新と組んで大阪都構想を進め、大阪を成長させ、そして関西の公明党衆議院議員を落選させれば、憲法改正に道が開ける」「憲法改正を大阪市議会から動かす政治家になるべき」だ。吉村大阪府知事も、9日維新候補の応援演説で、自民党は「なんで本気で憲法改正の議論をしてくれないの」と9条改憲論議をけしかけている。維新の危険性はもはや明白だ。1ミリの幻想も抱いてはならない。大阪12区衆院補選で維新にリベンジしていかねば.....。

市民連合・豊中は、4月7日投開票の大阪府議会議員選挙に際して、下記の9項目を共通の政策目標としその実現をめざすことを確認し、立憲野党(立憲民主党、共産党)の候補者と政策協定を結びました。

記

1. 憲法と地方自治法を守り、いかす大阪府政にすること。
2. カジノ誘致に反対し、大阪万博開催については、その内容、経費負担のあり方など、徹底的に検証すること。
3. 大阪市を解体し、都に財源、権限を集中させる「大阪都構想」に反対すること。
4. すべての子ども、若者が健やかに育ち、学び、働くことを可能にするための保育、教育、雇用に関する施策を拡充すること。
5. 中小企業に対する支援策を充実させ、雇用の安定、最低賃金の引き上げ、社会保障の充実に取り組むこと。
6. 自然災害や巨大地震に強い、安全・安心のまちづくりを進め、被災者支援策を拡充すること。
7. ライフラインである水道、下水道の民営化には反対すること
8. 森友学園事件の大阪府関与を徹底究明し、「小学校設置基準認可適当」とした大阪府の責任を明確にすること。
9. ジェンダー平等の実現とともに、LGBTに対する差別、障害者差別、外国人差別を解消し、誰もがともに暮らしやすい共生社会大阪を実現すること。

2019年3月

安民法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合豊中

オスプレイの大阪伊丹空港への緊急着陸に抗議！ (山田雅美)

4月1日14時頃、大阪伊丹空港に米軍機オスプレイが緊急着陸したことにつき、4月9日、地元市民として戦争法廃止市民アクションのメンバーで、防衛省近畿中部防衛局・国土交通省大阪航空局、豊中市に対し、抗議の申し入れを行いました。文書による回答と説明の場を要請しています。(下記参照)

オスプレイによる事故は過去度々報道されていますが、米軍は沖縄普天間基地に現在24機配備。横田基地に現在5機今後更に5機配備予定。それらのオスプレイは、日米地位協定により認められた、米軍の基地間移動の自由、一方的な飛行ルート設定の自由により、何ら制限を受けず日本の上空を飛び回っています。そして今回の様な事故があっても、日本の行政は現場調査が行えない実態があります。

オスプレイは自衛隊により、佐賀空港への導入・配備(17機)も予定されており、地元では市民による反対運動が取り組まれています。

私たちは、地元でオスプレイ着陸抗議の声を挙げ続け、全国で闘われているオスプレイ反対の闘い、すべての基地に反対する闘い、又日米地位協定抜本改定の取り組みと連帯していきたいと考えます。

ちなみに、オスプレイのアメリカからの購入価格は1機211億円。日本以外でオスプレイ導入を決めている国はない(イスラエルキャンセル。米陸軍も不採用)。

写真は、伊丹空港に緊急着陸した米軍オスプレイ(2019.4.1朝日新聞記事)



アメリカ軍オスプレイ機の大阪空港緊急着陸に関する申し入れ

豊中市長様(防衛大臣様)(国土交通大臣様)

2019.4.9

忘れない!あきらめない!戦争法廃止!豊中市民アクション実行委員会

2019年4月1日午後、アメリカ軍オスプレイが大阪国際空港に緊急着陸したとマスコミにより報じられました。

オスプレイ機は、近年においても2016年沖縄県名護市沖での墜落、2017年オーストラリア沖での墜落、2018年8月には奄美空港と米軍嘉手納基地に相次いで緊急着陸するなど度々事故を起こしています。

今回の緊急着陸は、「機内の警告灯がついたため」と伝えられていますが真の原因は不明です。まかり間違えば、大都市の真ん中にある大阪空港又は周辺地での大事故につながる、見過ごすことはできない出来事であります。

私たちは今回の出来事に強く抗議すると共に、市民の生命を守るため、貴職におかれまして早急に下記の行動をとられる様申し入れます。

記

- 下記の事項について調査しすべてを公表されたい。
 - 緊急着陸の理由・大阪空港までの飛行ルート
 - 大阪空港でなければならなかった理由
 - 民間機への影響への補償
 - 緊急着陸した理由
 - その際の安全対策
 - 離陸した後の飛行ルート並びに飛行先
- 大阪空港を軍事利用しないことの徹底を国土交通省に申し入れされたい。
- オスプレイ機の飛行中止を、日本政府及びアメリカ軍に申し入れされたい。
- 日米地位協定の抜本的改正を、日本政府及びアメリカ政府に申し入れされたい。
- 以上の点につき文書で回答されたい。

以上

緊急セミナー「戦争は過去にあらず！」のお知らせ (山東 健)

今安倍政権の下で進められる改憲策動の中にあり、まだ報じられていない「緊急事態条項」とは！？それは戦前の全体主義そのものと題したセミナーです。全体主義の実態を今進められている事実から解きほぐします。例えば軍隊と民間人の関係です。先の戦争では民間船（商船など）が軍事徴用され、

否応なしに海の戦場に赴かされましたが、これが今の自衛隊を輸送する民間フェリーです。

今回はこうした今現に進められる官民一体の戦争準備や緊急事態条項など改憲内容を学習したいと思います。①では大井田孝氏から戦中の民間船の史実。②では永井幸寿氏から「緊急事態条項」・「国会議員任期延長」について。

特に緊急事態条項では、非常時を理由に、政府に過度に権力を集中して大幅な人権侵害を認める制度であり、戦前の政府に立法権を認めるものなどで、権力の濫用と人権侵害の危険が極めて高いものです。また、国会議員の任期延長は、多数派のお手盛りで議員の任期を無制限にできる制度であり、民主主義を根底から覆すものです。

自由も人権もない戦前・戦中に引き戻される「怖さ」が現実味を帯びつつある今日、進められる戦争国家への策動に止めを刺し、平和の大切さ、命の尊さを皆さんと共に確かめ合ひましょう。

☆日時：2019年5月26日（日）午後2時より

☆場所：豊中市立文化芸術センター・多目的室

☆主催：忘れない！あきらめない！戦争法廃止！豊中市民アクション

《書籍紹介》

◎憲法に緊急事態条項は必要か～著者：永井幸寿

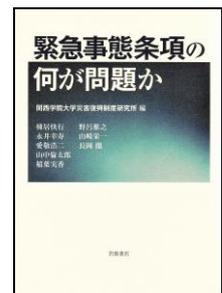
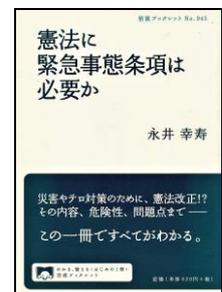
災害やテロ対策のために、憲法改正！？その内容、危険性、問題点まで～

岩波ブックレット：550円（著者割引）当日会場にて販売

◎緊急事態条項の何が問題か～編者：関西学院大学災害復興制度研究所

憲法改正論議のなかで、テロや震災対応を理由に「緊急事態条項（国家緊急権）」の導入論が加速度を増そうとしている。そもそも、国家緊急権とは何か？議論が手薄だったこの分野に専門家が多方面から切り込み、非常時における国家の役割、市民の役割についても改めて考える。

岩波新書：1,800円（税別）



米軍基地問題は沖縄だけの問題ではない！

【報告】2019年3月、豊中市議会に「日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書の提出」を市民有志で請願しました。

この意見書の内容は、昨夏、全国知事会が全員一致で提言したものとほぼ同じです。「国内法を米軍にも適用させる」「事件・事故時の自治体職員の立ち入りの保障」など、飛行場のある豊中の市民として当然の要求ですが、3月19日の市議会本会議にて、自民・公明・維新各派の反対により否決されました。「主旨には賛成だが、豊中から出す必要はない」と。

そして、その直後に、大阪空港にオスプレイが緊急着陸！

市民の命と安全を守らない議員は要りません！！

☆カンパの送金先☆

郵便貯金 口座番号 00980-4-116244

加入者名：九条の会・豊中いちばん星



明るく元気に怒りたい人、いちばん星へ！

九条の会・豊中いちばん星

連絡先 FAX: 06-6849-0251

Eメール: toyonaka9jo@yahoo.co.jp

〒560-0021 大阪府豊中市本町1-1-1

市民活動情報サロン気付

URL: <http://9jo-ichibanboshi.jimdo.com/>